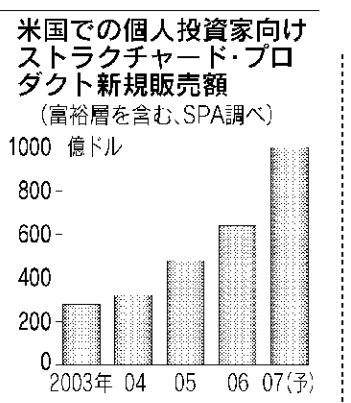


米国でストラクチャー・プロダクト（SP）と呼ばれる仕組み金融商品が個人投資家に急速に広がりつつある。SPは元本保証や安定的な利回りの確保など投資目的に応じた金融派生商品（デリバティブ）を組み込んで設計した商品。二〇〇六年の個人向けの市場規模（投資家の購入金額、富裕層を含む）は前年比三〇％増の六百四十億ドル、今年は一千億ドルを突破する見通しだ。

商品金融組み 米で個人に浸透

▼ストラクチャー・プロダクト（SP）
（金融派生商品）を組み込んだ仕組み商品。個別株式や株価指数、商品、為替、不動産など様々な投資資産をベースにした指数に連動する債券や譲渡性預金（CD）などを指す。元本保証型や金利確保型、レバレッジを効かせて収益の拡大を目指すタイプなどがある。



を得られる。ただ株価が急落した場合、償還時は債券が株式に転換されるため、償還額が大幅に下がるリスクもある。

最近人気が高まっているのが「トリプル・バスケット」と呼ばれる商品。S&P五百種、日経平均、

と、昨年初めの約三十社から急増した。「ぱっとしない運用利回りのヘッジファンドが多い中で、低コストで節税効果もあるSPを勧めるファイナンス・アドバイザーの増加が、SPの市場規模は米国の六百四十億ドルに對し、欧州は千九百三十六億ドルにのぼる。「株式文憑」が根づいた米国に對し、欧州は元本や利払い確保に重きをおく債券文憑は〇四年から外部プロカーに販売の委託を始め

欧州で先行

これまででは機関投資家や富裕層向けが中心だったが、リスク管理意識を

高める個人への浸透に拍車がかかってきた。SPのうち米国で最も人気が高いのが「リバード・コンパティブル」と呼ばれる商品。市場規模

模は百三十億ドル程度とみられる。単一銘柄株に連動する短期債券で、定期的に金利を支払う代わり

待てないものの、個別株の配当を上回る利回り

FTSEの三大株式指数の上昇率に連動した元本

現在契約する外部部門を新設した。

100億ドル市場へ 安定利回り確保

（ニューヨーク＝伴百江）